

2019-20 年度 RI 会長:マーク・ダニエル・マローニー / ガバナー:鈴木秀憲 / 会長:小椋 剛 / 幹事:野口一信  
クラブ会報委員会 委員長:小池俊輔 / 例会日:木曜日 午後 12:30 開会 / 会場:ベルヴィアイトピア

## 第2586回 10月第1例会 10月3日(木)

### [ 通常例会 ]

- 点鐘 小椋 剛 会長
- 国歌斉唱、ロータリーソング斉唱
- 四つのテスト唱和
- 会長の時間 小椋 剛 会長
- 幹事報告 野口一信 幹事
- 委員会報告
- 卓話 消防指令長 野口祥和 様
- 出席奨励・スマイル委員会
- 点鐘 小椋 剛 会長

#### 点 鐘

#### 会 長 の 時 間



#### 小椋会長

皆さんこんにちは、本年度に入りまして3ヶ月が過ぎました。長く感じた3ヶ月でしたが、残り11ヶ月、なんとか頑張りますので応援の方よろしくお願ひ致します。

先週は、本年度2回目の夜間例会でしたが、仕事の

都合で昼間の例会になかなか出席できない会員の方にも出席いただけて、より親睦を図れたのではないかと思います。予算の関係もありますが、より良い親睦が図れるよう例会プログラムを企画したいと思いますので、会員同士誘い合って例会への参加をお願い致します。

さて、9月、10月は本年度の重要事業であります防災に関する例会がメインとなっております。本日は行田市消防本部総務課副参事消防指令長野口祥和(のぐちよしかず)様に「防災における危機管理」について、卓話を頂きます。野口様よろしくお願ひ致します。

来週12日土曜日は、行田RC、行田市自治会連合会、埼玉浮き城クラブの共催によります公開講演会が予定されております。講師は「防災システム研究所」所長 山村武彦先生です。

災害が起きますと、テレビで解説者として出演されておりますので、皆様もご覧になったことがあると思います。山村先生は50年以上にわたり、世界中で発生する災害(250か所以上)の現地調査を実施。講

演も日本各地で（2500回以上）行い実践的防災・危機管理の第一人者と言われている人です。

最近の災害は激甚化の一途をたどっております。気象庁によりますと1時間の降水量が50ミリ以上の短期的強雨の発生回数は、70～80年代と比べて、この10年間は1.4倍に増えたそうです。

行田市は、北に利根川、南に荒川の日本を代表する2大河川に挟まれた地勢であり、過去においては、堤防が決壊し、甚大な水害が発生したことがあるようです。8月に発生しました九州北部豪雨は対岸の火事ではないと思います。

異常が日常になりつつある近年の異常気象や災害に対し、地域の皆様と共に防災について取り組む切っ掛けになればと思いますので、協力の程宜しくお願い致します。

また、今月10月25日に台湾より、姉妹クラブである台湾城中RCの皆様が来訪されます。大勢で歓迎したいと思いますので、今からスケジュールを調整して頂き多くの皆様の参加をお願い致します。（ちなみに例会扱いとなっております。）以上をもちまして、会長の時間挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

## 幹 事 報 告



### 野口幹事

10月3日 本日定例理事会が開催されました。

〈審議事項＝6件〉

- ① 前回議事録承認の件
- ② 11月プログラム承認の件
- ③ 古代蓮の里イルミネーション協賛の件

- ④ 九州北部豪雨災害義援金の件
- ⑤ 行田ロータリークラブ会長杯少年サッカー大会後援・協賛の件
- ⑥ その他・・・地区大会について＝福島会員が大会実行委員長、行田RCがホストクラブとなる件以上全て承認されました。

特に⑥につきましては皆様のご協力を宜しくお願い致します。

〈報告事項〉

- ① 先日の日曜、月曜にかけて親睦旅行の下見を親睦委員会、会長、幹事で行ってまいりました。

## 委 員 会 報 告



### 防災委員会 古沢委員長

本日は9月5日の防災卓話、9月12日防災体験学習に続き第3弾として行田市消防本部総務課副参事消防指令長、野口祥和様に「防災における危機管理」を卓話頂きます。また、10月12日には第4弾として小椋年度のメイン事業となります防災システム研究所所長の山村武彦氏による公開講演会を行田商工センターにて開催予定ですので、会員皆様の参加をお待ちしております。宜しくお願いします。

## 誕生祝い



### 10月誕生日

山本正幸会員、吉岡会員、武笠会員、齋藤恭一会員  
鴨田会員、田山会員、山田会員  
おめでとうございます。

## 卓話



行田市消防本部総務課副参事消防指令長 野口祥和様

### テーマ：「防災における危機管理」

防災について何を話そうかと考え、国や自治体が、どのように地域防災力の充実等を図っているのかについて危機管理の視点から皆様に知っていただきたいと思い資料を準備いたしました。（以下内容・・・）  
**地震と水害**を中心に話します。

**地震**：今後日本で起きる災害・・・30年以内に震度6以上の地震の起きる確率は26%以上

- ・地震が発生したら身の安全確保が最優先、揺れが収まったら火の元確認、出口確認をしましょう。
- ・二次災害は電気やガスが復旧した時に配線・配管が大丈夫か確認しないと火災が発生したりするので気を付けましょう。

**水害**：気象災害・・・温暖化による台風の巨大化、降雨量の変化、冠水など、このほか干ばつによる水不足、水不足による作物の不作、食糧難など

- ・防災における気象情報に敏感になりましょう。注意情報には**大雨注意報**から5段階で最も切迫度の高い**記録的短時間大雨情報**まであり、気象庁のホームページでも確認できます。
- ・洪水から非難するポイントは洪水の危険を感じたら、早めに安全な場所に避難することが大切で、「**立ち退き避難**」と「**屋内安全確保**」があります。

「**立ち退き避難**」・・・早めに安全を確保できる避難場所、自治会館、親戚・知人宅などに避難します。

「**屋内安全確保**」・・・立ち退き避難が困難な場合＝夜間や避難経路の危険個所が分かりにくい、すでに膝上まで50cm以上浸水している、流れが速いなどの場合は浸水による建物の倒壊が心配されない自宅や近隣建物の2階以上へ一時的に非難し救助を待ちます。

### 地域防災力の充実強化

今後ますます多様化・大規模化することが予想される災害に対応するために、地域防災力を一段と高める必要があり、広域的な大規模災害が発生した場合には、まず初期対応できるのは、地域に密着している人であり、そのリーダー的役割を果たすのが消防団であると考え、平成25年12月、消防団を中核とした**地域防災力の充実強化に関する法律**が制定されました。

公助としての消防、共助としての消防団、自助としての自主防災組織が連携、役割分担を明確化し、災害時に迅速、かつ円滑に対応できる仕組みづくりで地域防災力の強化が図られます。

**危機管理の要点**・・・あなたが住む地域で何が起きるか把握し、何が起きたら困るか考え、その時の対処法を考える事です。

**危機管理の心得**・・・自然災害は防ぎようがない  
防災⇒減災 減防災の考えが大切です。

防災は災害を考え、その対処方法を**地域の人達と一緒に考える**ことが大切です。

以上の内容のお話を頂戴しました。

## 出席状況報告

T	正会員数	64名
P	本日の出席者	30名
本日の出席率		47%

## ニコニコ報告

### ○小椋会長

・行田市消防本部 野口様 本日はよろしくお  
致します。

### ○野口幹事

・野口様よろしくお願  
致します。

### ○鴨田会長エレクト

・誕生祝いありがとうございました。

### ○小沢副会長

・西武ライオンズ優勝おめでと

### ○大野会員

・12月8日に行われます明大マンドリンチャリティー  
演奏会のご後援ありがとうございます。皆様のご協  
に心より感謝申し上げます。

### ○田山会員

・誕生祝いありがとうございます。

※本日のニコニコは 9,000 円でした。

ありがとうございました。



司会 境野会員